

グローバルな高度人材の育成

- 医療機器、自動車、航空機等の成長3分野等で活躍できるグローバルな高度技能者の育成
- 世界の学生・研究者が集まる大学等の高等教育機関と協働した世界トップの研究・人材育成
- 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+(プラス))などに参加し、県内高等教育機関や産業界と連携して、地域活性化につながる人材を育成

「顔の見えるネットワーク」を活かした地域づくり

- ボランティア・地域づくり・NPO活動を総合的に支援する「とっとり県民活動活性化センター」の機能強化による、活動主体の支援と協働の取組を促進
- 専門知識や技能を生かした社会貢献活動を行う「社会人ボランティア人材」(プロボノ)の発掘・養成

女性、高齢者、障がい者など多様な主体が輝く地域づくり

- 女性にとって暮らしやすい魅力ある地域づくりの推進※
- イクボス・ファミボスの養成など、育児・介護と仕事との両立を推進※
- 女性ならではの感性や視点を生かした商品づくりやサービス提供の推進※
- 健康マイレージ事業や介護予防体操、認知症予防事業の推進による高齢者の健康寿命の延伸
- 高齢者の豊富な経験や技能を活かした人材バンクなど、高齢者の活躍の場・仕組みづくりの推進
- 就労系障害福祉サービス事業所の受注増に向けた体制整備
- 障がい者の就職率向上、雇用促進、離職防止の取組推進
- 「カルチュラル・オリンピアド」としての障がい者芸術の祭典の開催による芸術・文化活動の振興

<主なKPI>

目標指標	(H26) → (H31)
高校卒業後の進路決定率※	98.4% → 100% (H28)
県内大学生の県内就職率	34.2% → 44.3%
県外大学進学者の県内就職率 (県出身者が多い大学)	29.5% → 40%
県内介護職員数※	10,873人(H27) → 11,220人
グローバル高度技能者の育成人数	(H27~29 累計) 330人
男女共同参画推進企業のうちイクボス宣言企業率	— → 80%
障がい者就業者数	2,545人 → 3,600人超

支え愛

鳥取ならではの「防災文化づくり」

- 多機能コミュニティ拠点(小さな拠点)、ふれあい共生ホームなどの加速的全県展開
- 支え愛マップづくりなどを通じた災害時の助け合いや多様な主体が協働して取り組む災害時支え愛活動の促進※
- 地域の防災リーダーや避難所運営リーダーの養成、スキルアップ※
- 支え愛避難所の設置促進※
- 障がい者や高齢者等に配慮した避難情報の伝達や避難所の生活環境整備※



支え愛マップづくりの様子

人と人の絆を力に安心の暮らしをつくる

- 人と人の強い絆を力に地域づくりをすすめる「支え愛運動」の展開
- 企業の販売促進とNPO等による社会課題解決とを結ぶ「寄附付き商品」の開発・普及支援
- あいサポート運動の展開、あいサポート条例(愛称)に基づく県民運動の推進※

中山間地域の安心と元気をつくる

- 中山間地域や医師不在地域における、巡回診療や通院のための交通サービスを含む医療提供体制の存続
- 循環型バス、デマンド型バス、乗合タクシーの導入等地域ニーズに則した多様な交通サービスの展開
- 見守りシステムの構築、民間企業と連携した移動販売やコミュニティ拠点(小さな拠点)への店舗機能付加などによる買い物支援をはじめとした生活サービスの提供

<主なKPI>

目標指標	(H26) → (H31)
とっとり支え愛活動継続取組数	175件 → 190件
支え愛マップづくり取組自治会数	341箇所 → 600箇所
自主防災組織率	78.8% → 90%
あいサポーター数	246,015人 → 410,000人
「小さな拠点」の数	— → 30箇所
買い物福祉サービスを実施する地域数	1地域 → 4地域

幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ～鳥取+rhythm～

<基本目標>

|JUターンの受入者数▶8,000人(5年間)

正規雇用創出数▶10,000人(4年間)

転出超過を5年かけて半減させ、その5年後に転入転出数を均衡



移住・定住

「移り住みたい」鳥取県

- 元気な高齢者が活躍するCCRC(生涯活躍のまち)の構築
- 住まい・仕事・教育・子育てなどさまざまな希望に対応できる魅力的な移住環境づくりを強化
- メールマガジンを通じた移住定住施策、産業雇用施策の一体的情報提供等、移住につながる情報発信の強化
- 移住者のための空き家マッチングシステムを構築
- 技術人材バンク等によるプロフェッショナル人材の移住促進
- 国内外のアーティスト等が移り住み、創作活動を行う「アートピアとっとり」の創造
- 起業などのチャレンジ機会の創出による若者の移住促進※
- 都市部の女性への情報発信など、都市部からの女性の移住受入れの取組を強化※

「住み続けたい」・「帰りたい」鳥取県

- 県内の中・高校生へ鳥取県の魅力を発信し、若者の定住を促進
- 県外学生に対する県内企業の情報提供の強化、インターンシップ等への参加促進
- 県内学生のネットワーク化支援など、若者の郷土愛を育む取組支援※

<主なKPI>

目標指標	(H26) →	(H31)
CCRC(生涯活躍のまち)地区数	—	→ 3地区
お試し住宅等の棟数	21棟	→ 30棟
技術人材バンクによるマッチング件数	22件	→ 500件
10代・20代の転出超過数	1,259人	→ 600人
とっとり仕事・定住バンク登録者数	4,000人	→ 8,000人
県外学生の県内企業へのインターンシップ参加者数	10人	→ 200人

働く場

鳥取県産業の特徴を活かした正規雇用の場の拡大

- 正規雇用1万人チャレンジの断行
工業団地造成、遊休施設改修、企業の設備投資等への支援、経営革新に取り組む企業に対する成長段階や経営戦略に応じた総合的支援、人材戦略マネージャーの配置等による観光ビジネスなどサービス産業の更なる成長産業化
- 地域経済を牽引する新たな成長産業の立地、本社機能等移転、中山間地への企業誘致など戦略的な企業立地施策の推進
- 起業コンテスト、クラウドファンディングなど若者等の創業促進に向けた環境整備
- 後継者育成、マッチング支援等による中小企業の事業承継支援の促進

非正規から正規雇用への転換による雇用の質の改善

- 正規雇用転換促進助成金等による正社員転換の取組促進

戦略的な産業人材の育成・確保

- 一元的な情報提供環境の整備、キャリアコンサルティング等雇用のミスマッチ解消に向けた取組の推進
- 県立ハローワークによる産業施策・雇用施策・移住施策と一体となった求職者と企業の効果的なマッチング支援※
- 職業能力開発総合大学校基盤整備センター高度訓練開発室と連携した高度人材育成※



県立ハローワーク開設の様子
(H29.7月)

新たな成長産業の創出と伝統産業の育成

- 医工連携による医療機器開発など大学等の研究シーズ事業化支援
- バイオ・創薬ビジネス、最先端ICTやIoT、ビッグデータ、AI、ロボット、先進運転支援デバイス等を活用した新商品や新システム・サービスの開発支援※
- 和紙、緋、陶磁器、地酒など伝統的産業の販路拡大や商品開発、後継者育成等の支援

国内外への商圏拡大に向けた支援

- 効果的な情報収集、商談機会の確保、製品開発支援等を通じた総合的な商圏拡大に向けた取組支援
- 産業競争力の強化を目的とした「境港流通プラットフォーム」の取組促進
- 国際経済変動による影響を最小限に抑えるための県内企業への支援※

自らの能力が発揮できる働き方改革の実現

- 在宅勤務・テレワーク制度など、多様で柔軟な働き方の推進〔再掲〕
- 再就職を希望する女性の就業支援、安定雇用に繋げるための職業訓練による技術習得の取組促進
- イクボス・ファミボスの養成など、育児・介護と仕事との両立を推進〔再掲〕

<主なKPI>

目標指標	(H26)	→	(H31)
経営革新認定企業数	(H27~H30 累計)		1,200 社
中山間地域への立地件数	(H27~H31 累計)		10 件
事業承継の成約件数※	(H29~H31 累計)		30 件
正規雇用の転換者数	(H27~H30 累計)		1,000 人
医療機器産業への新規参入企業数	10 社	→	40 社 (H27~31)
北東アジア地域への新規展開企業数	7 社	→	33 社 (H27~31)
国際コンテナ取扱量	23,139 TEU	→	32,000 TEU
企業子宝率	1.31	→	1.45

まちづくり

暮らしやすく、元気になるまちづくり

- 鳥取砂丘コナン空港・米子鬼太郎空港の「空の駅」化など、交通の結節点を拠点とする地域のにぎわいづくり
- 道の駅等を活用して、地域交流拠点と医療・福祉、行政機能などの生活機能を連携・ネットワーク化する取組(コンパクトビレッジなど)の支援
- 複数集落や地域住民等の連携により、生活に欠かせないサービス等を提供する「小さな拠点」づくりの推進
- まちなかの活性化、コミュニティ拠点づくり等、若者が集う場所づくりに向けた取組支援
- 老朽化空き家の除去等、市町村と連携した地域の安全と遊休地の活用促進
- まちのリノベーションに取り組む民間団体への支援による駅前や商店街などの新たな魅力の創出
- 2020年東京パラリンピックに向けた障がい者スポーツの拠点づくり



▲「ユニバーサルデザイン(UD)タクシー」導入による誰もが利用しやすい地域交通モデルの構築

アート・文化による地域づくり

- 複数の作家等が居住し活気ある創作活動が生まれる工芸アート村の創出
- 文化芸術活動を支える人材の育成や鑑賞機会の提供などアート・文化によるまちづくり
- 地域資源である本県ゆかりの文化芸術分野の先人などの魅力発信、伝統芸能活動・行事等を含むツアー実施など地域内外との交流の推進

快適な通信環境で便利・安心な暮らし

- 医療、産業、防災分野など県民生活の基盤となる超高速情報通信網の利用環境整備
- IT・コンテンツ関連産業等の里山オフィス、中山間地域コミュニティビジネス等の開設促進
- 災害時や観光客の通信手段として必要な超高速モバイル通信電波(4G)の利用可能エリアの拡大

<主なKPI>

目標指標	(H26)	→	(H31)
「小さな拠点」の数〔再掲〕	—	→	30 箇所
障がい者スポーツ実施率	32.7%	→	40%
民間宿泊施設のバリアフリー対応数	43 施設	→	70 施設
「工芸・アート村」の創出数	—	→	3 地区
超高速モバイル通信電波の不感エリア箇所の解消率※	—	→	主要道路 99%

鳥取県の特徴的な指標

豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

- **環境にやさしい地域**
第1位北海道、第2位青森県、第3位山形県、第4位岩手県、第5位秋田県…第19位鳥取県
(地域ブランド調査2016(ブランド総合研究所))
- **海・山・川・湖などの自然が豊か(出身者が誇れる県出身地別ランキング)**
第1位和歌山県、第2位山梨県、第3位高知県、第4位長野県、第5位鳥取県
(地域ブランド調査2016(ブランド総合研究所))
- **鳥取県と言われて連想するもの** 第1位 鳥取砂丘(76%)
- **鳥取県に関して魅力的だと思うもの**
第1位 自然環境(地形・景観) 第2位 食べ物 第3位 気候
(鳥取県に関するイメージ調査(平成29年3月 鳥取県広報課))
- **鳥取県を代表する主要農林水産物**(食のみやこ鳥取県を形成する豊かな農林水産業)
二十世紀梨 全国第1位(平成27年度 日本園芸農業協同組合統計)
らっきょう 全国第2位(平成26年度 農林水産省 地域特産野菜の生産状況調査)
べにずわいがに 全国第1位(農林水産省「2015年産地水産物流通調査」)
ずわいがに 全国第3位(農林水産省「平成28年漁業・養殖業生産統計」)
はたはた 全国第2位(農林水産省「平成28年漁業・養殖業生産統計」)
- **再生可能エネルギーによる電力自給率**
鳥取県32.0%(全国14.5%)平成27年度実績
(鳥取県環境立県推進課調べ、資源エネルギー庁「平成27年度電力調査統計」)

人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

- **待機児童数** 全国第1位(ゼロ)(厚生労働省調べ2016)
- **小児科専門医数** 全国第1位 (厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査2014」)
- **産科・婦人科専門医数** 全国第1位 (厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査2014」)
- **医師数** 全国第6位 (厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査2014」)
- **ボランティア活動の年間行動者率** 全国第4位(総務省「社会生活基本調査2011」)
- **3世代同居の世帯割合** 全国第10位 (総務省「平成27年国勢調査」)
- **子育てがしやすい環境(出身者が誇れる県出身地別ランキング)**
第1位福井県、第2位鳥取県、第3位福岡県、第4位富山県、第5位沖縄県
(地域ブランド調査2016(ブランド総合研究所))
- **医療や福祉が充実している(出身者が誇れる県出身地別ランキング)**
第1位 東京都、第2位 神奈川県、第3位 兵庫県、第4位 徳島県、第5位福岡県、
… 第19位鳥取県 (地域ブランド調査2016(ブランド総合研究所))

幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

- **通学・通勤に要する時間** 全国第3位 (総務省「社会生活基本調査2011」)
- **余暇時間** 全国第5位 (総務省「社会生活基本調査2011」)
- **都道府県幸福度ランキング(総合)** 全国第8位 (日本総合研究所調べ2016)
生活/地域部門第1位、教育/社会部門第2位、仕事/雇用部門第4位